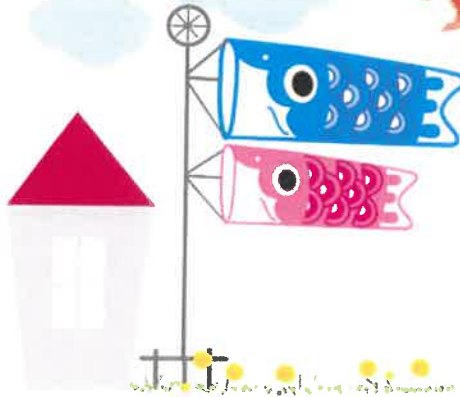


社会福祉法人

秀幸福社会

2020・No.243

5月



特別養護老人ホーム庄栄エルダーセンター

- エルダーショートステイ
 - エルダーケアプランセンター
 - エルダーデイサービスセンター
 - 認知症対応型デイサービスセンター
 - エルダーヘルパーステーション
 - 障害福祉サービス事業(エルヘルパーステーション)
 - 移動支援事業(エルヘルパーステーション)
 - 茨木市産前産後ヘルパー派遣事業
 - エルダー診療所
 - 社会貢献事業(生活困窮者レスキュー事業)
 - 介護タクシー
 - コミュニティソーシャルワーカー配置促進事業
- 〒567-0806 大阪府茨木市庄2丁目7-38
TEL 072-631-5151 FAX 072-631-5141

茨木市地域包括支援センターエルダー

〒567-0806 大阪府茨木市庄2丁目7-38
TEL 072-631-5200 FAX 072-631-5222

東・白川地域包括支援センター

〒567-0806 大阪府茨木市鮎川1丁目6-4
TEL 072-636-8686 FAX 072-636-8687

いきいきネット相談支援センターエルダー

〒567-0806 大阪府茨木市庄2丁目7-38
CSW 専用携帯 080-8946-3999
FAX 072-631-5141

高槻エルダーセンター

〒569-0811 大阪府高槻市東五百住町2丁目4-32
TEL 072-690-5151 FAX 072-690-5141

地域密着型デイサービスセンター 未来

〒567-0823 大阪府茨木市寺田町8-20
ピアハイツ幸1階
TEL 072-635-8484 FAX 072-635-8451

相談支援センター ひまわり

〒567-0806 大阪府茨木市庄2丁目6-32
TEL 072-626-3310 FAX 072-626-3340

放課後等デイサービス ひまわり

〒567-0806 大阪府茨木市庄1丁目13-27
TEL 072-623-5511 FAX 072-623-5550

放課後等デイサービス フォルテひまわり

〒567-0806 大阪府茨木市庄1丁目7-27
ピアフォルテ 102・103
TEL 072-622-6081 FAX 072-622-6082

茨木市地域活動支援センターⅢ型 ひまわりの杜

〒567-0022 大阪府茨木市三島町1-10
TEL 072-625-8070 FAX 072-625-8071

就労継続支援B型 ファーム大岩の杜

〒567-0022 大阪府茨木市三島町1-10
TEL 072-625-8070 FAX 072-625-8071

認定こども園 ちとせ學院

〒567-0806 大阪府茨木市庄2丁目7-35
TEL 072-626-2191 FAX 072-626-2192

認定こども園 ちとせ學院 めぐみの森

〒567-0814 大阪府茨木市戸伏町13-35
TEL 072-626-1606 FAX 072-626-3164

認定こども園 ちとせ學院 Due 南茨木

〒567-0868 大阪府茨木市沢良宜西1丁目10-31
TEL 072-638-9191 FAX 072-638-9192

茨木市福井多世代交流センター

〒567-0062 大阪府茨木市東福井2丁目23-22
TEL 072-643-1300 FAX 072-643-1300

恵の杜(総合相談センター)

〒567-0806 大阪府茨木市庄2丁目6-32
TEL 072-631-6361

入所 面会風景



現在、緊急事態宣言発令中の為、面会をお断りさせて頂いています。利用者様、家族様におかれましては、お顔を見れず、不安に思われたり、心配されている事と思います。そんな中、ある利用者様の家族様から携帯電話を使つてのテレビ電話で話が出来ないか、顔が見えないかとの申し出を受けましたので、即、対応させていただきました。電話越しではありましたが、お顔が見えてとても喜んでおられました。

元気ですか？
こちらは元気ですよー。



1Fフロア

元気だよー!!

お過ごしフロア

まだまだ終息には、時間を要する状況なので、この度『ひだまり』に掲載して、皆様にお役にたていただければと思います。

ご希望される方は、携帯電話を2台以上お持ちくださって、お声掛けして頂ければ対応させていただきます。(ベッドサイドへもお持ちできます) *来所される前に事前にご連絡いただくとスムーズに対応できますのでご協力お願い致します。



庄栄エルダーテイサービスセンター

この度は、ご利用者様・ご家族様・周囲の関係者各位にご迷惑とご心配をおかけして大変申し訳ございません。

現在のテイサービスでは、ご利用者様の座席の間隔を空ける、消毒の徹底、定期的な換気などを行っております。

外部ボランティア(ヘアカットなど)も当面の間は中止とさせていただきます。色々にご迷惑をおかけしておりますが、今後とも宜しくお願いいたします。

下記の写真は、4月のテイサービスフロアの様子です。

ピンクの折り紙などで鶴を折り、天井から吊るし施設全体の雰囲気をも桜にしました。なかなか外出ができない時期ですが、テイサービス内で「お花見」気分を楽しみました。



●4月のテイルームの様子●

庄栄エルダーホームヘルプステーションです！

いつもご利用ありがとうございます。

新型コロナウイルス対策について

新型コロナウイルス感染対策を継続して行っています。

勉強会が開催できないので、資料を配布してヘルパーには自宅で勉強をしてもらいます。

今月末には、「感染症対策」を配布します。

利用者様の訪問には、

マスクを着用し訪問前、訪問後は、手指消毒を行っています。
身体介護、生活援助 室内でのサービスはエプロン、三角巾を着用しています。

追加項目として

オムツ交換時は、感染予防策として、ビニール袋を代用しエプロン代わりに着用しています。

利用者様にもご協力をお願いしています。

ヘルパー訪問時には、利用者様もなるべくマスクをつけて頂く事とお部屋の換気をしてもらう事をお願いしています。

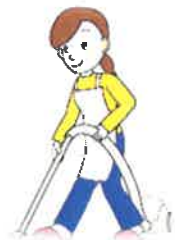
それと

同居する家族様の中に夜の飲食店や、娯楽施設、他府県へのお出かけなど緊急事態宣言の内容を守る事が出来ない場合にはヘルパーの訪問を自粛させていただいています。

ご協力をお願いします。

早く、この状況が終息され、

通常の生活が一日も早く、戻る事を心から祈っています。



サービス提供責任者・杉浦・園山・高木・松尾・船戸

～茨木市長・茨木市議会議員補欠選挙の不在者投票を実施～

4月10日(金)庄栄エルダーにて外部立会人のもと、不在者投票を行いました。

今回、感染症予防対策として、各階の選挙人(入所者様)が交わらないように各階の食堂にて十分な間隔をとって投票を実施。視覚障害の方もおられ、点字仕様の候補者名簿に手を当てながら、自ら投票用紙に点字機によって、印字されていました。「入所する前は、近くの小学校で毎回、投票していたんや。ここでも投票出来て、良かったわ～」というコメントをいただきました。



新型コロナウイルス感染症対策を徹底！！

標記について、非常事態宣言が発出されている現在、当施設においても安心して利用していただけるよう、十分な対策を講じ、サービスを提供しております。

具体的には・・・

- ①玄関での手指消毒の徹底 ②受付での検温
- ③職員のマスク着用、手指消毒の徹底
- ④使用器具等の消毒 ⑤面会の制限など。

早く、平穏な日が来ることを願っております。

皆様のご理解ご協力の程、よろしくお願い致します。



クラブ・フォー・ケアラース

～「命を守る」「生活を支える」

すべての従事者に感謝の拍手を ～

皆さんと共に！！

ご存じでしょうか・・・このような感染リスクの高い状況下で、精一杯働いている医療関係者などへとお互いの頑張りを称える意を込めて、数秒間、一斉に拍手することが、世界中で行われています。当施設でも、一日2回、職員に呼びかけて行っています。

こういう事態であるからこそ、今、すべての人が一丸となって、ウイルスに打ち勝つよう、皆さ～ん、一緒に頑張りましょう！

●法人理念●

社会福祉法人 秀幸福社会は多様な福祉サービスがその利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫することにより、利用者が尊厳を保持しつつ心身ともに健やかに育成され、又その有する能力に応じた自立した日常生活を地域社会において営む事が出来るよう支援することを目的としています。

●運営目標●

- I 心が美しい人間になろう。
- II ひとり一人がみんなの命のぬくもりを大切にしよう。
- III やる気、本気で精一杯力を出し合おう。

●施設運営方針●

I 施設の使命

老人福祉施設庄栄エルダーセンターは、地域社会の支持を受け、開かれた施設として高齢者が地域社会の中で安心して生活を送ることができる、拠点施設となる事を使命とします。

II 利用者の生活の質の向上

老人福祉施設は尊厳を持って、利用者の個別ニーズに対応した自己決定を基盤とする自立支援をすると共に、優しさあふれた明るい施設作りを目指します。

III 職員の質の向上と専門性の向上

老人福祉施設の職員は常に質の高いサービスができるよう外部、内部研修に力を入れ円滑な人間関係の下『知識』『知恵』のあるケースを提供することを目的とします。

IV 地域福祉の向上

庄栄エルダーセンターは交通の利便性、人口密集地区にある施設として、施設、家族、地域の『きずな』を重視し、福祉サービスの発信基地、ボランティア活動の拠点となり、保健、医療機関との連携を密にして、地域の福祉の向上に努めます。